

Library Concert 2018

アラブの風を感じる

常味 裕司

ウードの調べ



2018 .3.17[土] 19 : 15 ~

(開場 19 : 00)

蒲生図書館 館内

古代よりアラブで愛されてきた弦楽器・ウード。日本の第一人者である常味 裕司さんに、現地のお話を交えながら 柔らかく優雅な音色を奏でいただきます。

ぜひ、あなたの知らない アラブの世界を感じに来てください。

定員 70名 (無料/申込みが必要です)

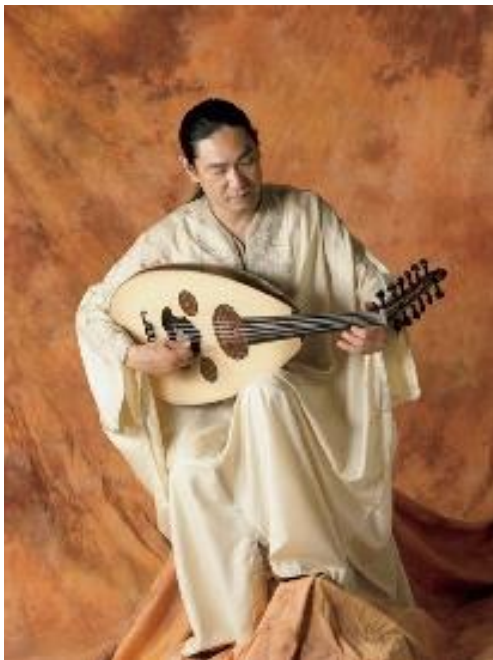
※蒲生図書館のカウンター または お電話 (0748 - 55 - 5701) で
お申込みください。



ウードとは…

洋梨型の胴と、後ろに曲がった頭部を持つアラブの古典楽器。古代よりアラブで「楽器の王様」として愛され、シルクロードを伝わり、西へ行くとリュート、最も東の日本では琵琶の祖先楽器と言われている。

ワシの羽根や水牛の角で弦をはじいて演奏する。繊細で透き通った弦の深い響きと陽炎のような旋律が特徴で、華やかなものから感傷的な曲まで奏でることができる。



常味 裕司 (つねみ ゆうじ) プロフィール

1960年、東京生まれ。日本のみならず、東アジア地域におけるウード演奏の第一人者。

民族音楽センター在籍中、たまたま手に取ったウードのレコードに衝撃を受け、ウード演奏の道に進む。スーダン人奏者の故ハムザ・エル＝ディン氏のもとで演奏法を学び、89年よりチュニジアへ渡り アラブ世界を代表するウード奏者故アリ・スリティ氏に師事、本格的にアラブ音楽を学ぶ。

帰国後は精力的な演奏活動を展開し、師からの「日本人の君にしかできないアラブ音楽を、日本で広めてほしい」という言葉を胸に、ソロ演奏のほか様々な演奏家・パフォーマーと共演するなど、ウードの魅力を伝え続けている。2007年放送のNHKスペシャル「新シルクロード 第2部」も監修し、楽曲提供やレコーディングも多数行っている。洗足学園音楽大学ワールドミュージック科 ウード講師。

●申込み・お問合せ●

東近江市立蒲生図書館

東近江市市子川原町 676

TEL : 0748-55-5701 / FAX : 0748-55-5703

IP : 050-5802-8342

月・火曜日、祝日、第4金曜日は休館

●交通のご案内●

近江鉄道 桜川駅下車徒歩約10分

近江バス 北畑行き『市子殿』下車 徒歩約10分

長峰集会所行き『蒲生支所前』下車すぐ

